

新機能追加!

リスク分析ソフト バージョン1.40をリリースしました!

ミロク会計人会会員様限定の顧問先様向け無償サービス

この度、リスク分析ソフトVer.1.40がリリースとなりましたので、新たに追加された主な機能とバージョンアップの方法について、以下にご案内させていただきます。
引き続き、業務提携にご理解いただき、なお一層のご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

自社株概算評価額と戦略資金の算定機能を追加しました!

主な追加機能の内容

✓ 自社株概算評価額の算定機能

顧問先の自社株対策のきっかけづくりとして、簡単に自社株概算額を計算できます。

✓ 戦略資金※の算定機能

決算書などをもとにして、顧問先のリスクマネジメント強化のために生命保険をご活用される際の支払可能な保険料の目安を算定できます。

※ 顧問先の資金繰りを傷めることなく、毎年拠出できる保険料の金額をいいます。

✓ 業界平均と比較できる経営指標項目の刷新

収益性、安全性、成長性、返済能力などの経営指標の性質ごとに区分を設けて、内容を刷新しました。

新たな12の経営指標は、銀行の企業格付けで重要視されると言われている指標です。

まだご事務所のパソコンに「リスク分析ソフト」をインストールされていない方で、ご興味をお持ちの方いらっしゃいましたら、以下に必要事項をご記入の上、FAXで送付下さい。

FAX番号: 03-3265-5719

会員登録の有無	有 ・ 無
ご事務所名	
所在地	
お名前	
電話番号	

※ 上記個人情報については、リスク分析ソフトのインストールおよびミロク会計人会連合会との業務提携推進の目的にのみ使用致します。

※ 既にご事務所のパソコンにリスク分析ソフトをインストールされている方はWebサイトよりバージョンアップできます。
バージョンアップの方法は裏面をご参照下さい。

【自社株概算評価額の算定イメージ】

① 簡単入力

② 印刷

概要 | 純資産方式 | 含み益方式

【貸借対照表(B/S)から取得していた入力情報】

資産の部 合計 ① 292,100
負債の部 合計 ② 189,500
資本金 ③ 102,600

【その他決算書から取得していた入力情報】

発行株式総数 A 15,000
経営者保有株式数 B 10,000
経営者保有株式割合(B/A) C 66.6%

※「発行済株式総数」に入力がない場合、現在株価(概算)は算出できません。
※ABC全てに値が入力されている場合、経営者保有株式割合は「B/A」の値が優先されます。

	純資産方式		含み益方式	
試算結果	時価総額(概算)	ア ①-② 102,600 千円	イ ア+① 99,600 千円	
	時価総額/資本金額	ウ ア÷③ 1.00 倍	エ イ÷③ 0.97 倍	
	現在株価(概算)	オ ア÷A 6,840 円	カ イ÷A 6,640 円	
概要	自社株 概算評価額(経営者保有分)	キ ア×(B/A) or C 68,331 千円	ク イ×(B/A) or C 66,333 千円	
	「資産の部 合計」と「負債の部 合計」の差額を時価総額と仮定して算出します。		純資産方式で算出した時価総額に加え、土地などの含み益を考慮した額を時価総額と仮定して算出します。	
		イメージ図		イメージ図
		資産の部 合計	負債の部 合計	資産の部 合計
			①-②	①
		+		
		資産の部 合計		

【戦略資金の算定イメージ】

① 簡単入力

② 印刷

個別シミュレーション > 財務強化対策 > 戦略資金の算定 (単位:千円) 保存

顧問先のリスクマネジメント強化に生命保険をご活用する場合、毎年資金繰り用のみに支出できる戦略資金(=支払可能な年間保険料)を算出します。

戦略資金①	当期純利益	+	減価償却費	-	年間銀行返済額	=	初期額に直す
	521,859		0		0		521,859
戦略資金②	税引前当期純利益					=	
	521,859						521,859
戦略資金③	営業キャッシュ・フロー	+	投資キャッシュ・フロー	=	フリーキャッシュ・フロー		
	0		0		0		
戦略資金④	前期からの増減		資金及び預金の増加額	=			
	前期からの増減		1,571,702				0

戦略資金①: 当期純利益から、費用だがキャッシュ・アウトしていない減価償却費も加えて、費用はされないがキャッシュ・アウトしている銀行返済額を引いた金額が戦略資金となります。(銀行返済額がマイナスの場合は0とします)

戦略資金②: 当期純利益から、当期純利益を税引前当期純利益に引き上げ、当期純利益がマイナスの場合は0とします。

戦略資金③: 営業に投資が決定し、フリーキャッシュ・フローがプラスとなります。また、基本は本業で得た営業のフリーキャッシュ・フローが戦略資金として見られます。本業で得たフリーキャッシュ・フローがプラスであれば、投資のフリーキャッシュ・フローはプラスに算入可能となります。

戦略資金④: 増減金の増加額です。①-②までの算定結果に基づき、算出された利益が必ずしも増減金の増加に繋がらないケースもあるため、増減金が前期と比べてどれだけ増加したかをチェックします。

【財務強化対策シミュレーション】戦略資金の算定 当日:平成27年03月04日

戦略資金①

当期純利益 521,859 千円 + 減価償却費 0 千円 - 年間銀行返済額 0 千円 = 521,859 千円

戦略資金②

税引前当期純利益 521,859 千円 = 521,859 千円

戦略資金③

営業キャッシュ・フロー 0 千円 + 投資キャッシュ・フロー 0 千円 = フリーキャッシュ・フロー 0 千円

戦略資金④

現金及び預金の増加額 1,571,702 千円 (前期からの増減) = 0 千円

※ 戦略資金とは、資金繰りを確保するために毎年支出できる保険料をいいます。
※ 上記の数値は、過去の決算書及びシミュレーションをもとに算出しています。

【既にリスク分析ソフトをインストール済みの方のバージョンアップの方法】

【イメージ】

(1) 下記URLにアクセスして下さい。

<http://www.ing-life.co.jp/update/>

(2) サイト内のダウンロードファイルをダブルクリックして下さい。

ING アイエヌジー生命保険株式会社

リスク分析ソフトのバージョンアップ

「リスク分析ソフト」は、より会計士・ファイナンシャルプランナー専用ソフトになります。当サイトで提供しているのは、バージョンアップ専用のファイルのみです。ご使用中のパソコンにリスク分析ソフトがインストールされていることを確認の上、アップデートを行ってください。

最新版はバージョン1.40です。自社株概算評価額の算定機能と戦略資金の算定機能が追加されました！

【ダウンロードファイルの使用手順】

「リスク分析ソフト」のバージョンアップは、操作を完了されるご自身の責任において行ってください。

- 作業前に「リスク分析ソフト」がご使用中のパソコンにインストールされていることを確認してください。
- ダウンロードファイルのアイコンをクリックして、ファイルをダウンロード(パソコンに保存)します。
- ダウンロードが完了したら、ダウンロードされたファイルをダブルクリックします。
- バージョンアップ開始画面が表示されますので、画面の指示に従ってバージョンアップを行ってください。

バージョン	リリース日	サイズ	バージョンアップの手引き	ダウンロードファイル	最新版の機能説明
1.40	2015/09/00	0.0MB			

ご利用のインターネット環境の状況によりダウンロードに時間がかかったり、ダウンロード途中でインターネット接続が切断され、エラーとなる場合があります。この場合は、お早めにご再度ダウンロードを試みてください。

※ リスク分析ソフトをインストールされていない場合は、担当の営業社員までご連絡ください。

※ バージョンアップを行う際は、サイト内の「バージョンアップの手引き」をご確認の上、ご対応をお願いします。